



第27号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
 泉区将監十丁目三九番一
 電話〇二二七二四二一
 印刷 創文印刷出版株式会社
 青葉区春日町八番二四号



同窓会長
 桂島 晃

「善を行うに勇なれ」

テレビや新聞で見聞きする東日本大震災のニュースの中で、避難所での中学生や高校生の活躍が数多く取り上げられており、自ら進んで、炊き出しの手伝いやトイレ掃除をしたり、小学生の遊び相手になったりする中・高校生、友達を集め自らボランティア団体を立ち上げ活動する高校生たちもおります。

感じたところで、このように被災しながらも、自分が育った地域のために立とうと頑張っている子どもたちの姿に、子どもたちの底力を感じるとともに、地域コミュニティの大切さを改めて考えさせられました。

また、避難所運営に当たられた教職員の方々のご苦労もたいへんなものであったと伺っております。家も家財道具も全て津波に流され、家族の安否も確認できないまま、その不安を表に出すことなく、毅然として避難者対応に当たった教員もいると聞いております。

「『こころ』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にも見える(S.O.S.)」。TVのCMで何度も流されていますのでご覧になっている方も多いと思います。つまりは、思いやりを持っていてもなかなか行動にうつすのは難しい。しかし、その美しい気持ちは行為になってこそ初めて意味があるということだろ高生と思えます。

泉高生の善行を、同窓会員として賞賛したいと思

る。これらのことが、今回の震災の対応で一部実証されたような気がします。

泉高校の生徒の中にも、休日、泥上げ、畳運び作業等、ボランティア活動を行っている者がいると聞いております。

災害ボランティアに限らず、泉高生にはどんな場面においても、善い行いを勇氣を持って行ってほしいと思います。

「『こころ』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にも見える(S.O.S.)」。TVのCMで何度も流されていますのでご覧になっている方も多いと思います。つまりは、思いやりを持っていてもなかなか行動にうつすのは難しい。しかし、その美しい気持ちは行為になってこそ初めて意味があるということだろ高生と思えます。

泉高生の善行を、同窓会員として賞賛したいと思

同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力並びに物心両面にわたるご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。四月の人事異動で宮城県松島自然の家から参りました。

さて、東日本大震災から五ヶ月が経ちましたが、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。被災地域では今なお懸命の復興・復興作業が続いておりますが、沿岸部では校舎が被害を受け、近隣の高校に分散して授業を実施するなど厳しい状況に置かれています。

今年度は四月二十一日に入学式が行われ、二七九名の新入生を迎え入れ、全校生徒八七八名で新学期がスタートいたしました。例年五月一日に実施していた泉三校定期戦も震災の影響で中止となり、本校生の大きな活躍の場がなくなりました。とは、各運動部員だけでなく一般生徒にとっても泉高生としてのアイデンティティを確認し、一体感を感じ取る機会を失ったという点で大変残念なことでした。

しかし、その後の県高校総体では、陸上競技部で三年生三名が上位に入り、東北大会に駒を進め、そのうち男子四百mハードルと女子走幅跳の二名が見事インターハイ出場を決めました。

また、女子ソフトボール部が三位に入賞するなど各部とも限られた練習期間の中でもよく健闘しました。

ところで、本校のここ数年の進学実績を見ると、国立大学の現役合格者数の割合が高くなり、特に一昨年度からは二年連続で八〇名を超えております。これは県下のいわゆる伝統ある進学校にも決して引けをとらない数字です。

これらの背景には、朝のSHR前十分間の「朝学習」や「週末課題」といった基礎・基本の学習習慣定着化の取組や総合的な学習の時



校長
 今野 理一郎

「ごあいさつ」

間を活用した進路学習により、生徒の学力だけでなく進路意識が高まり、「この大学でこれを学びたい」という具体的進路目標を描ける生徒が増えてきたためではないかと考えています。

一昨年度から同窓生の皆様にご協力をいただいて実施しております「社会人講話」は、社会の第一線で活躍されておられる同窓生の諸先輩方から様々な職業についての話を伺うことにより、職業観や勤労観についての貴重な学びの場になっていると伺っております。身近な先輩方からの熱いメッセージが、在校生の今後の在り方生き方に多くの示唆を与えていただき、進路意識の啓発につながっているものと思われま

す。このような母校に対するご支援に厚く御礼申し上げます。

最後にになりましたが、同窓会の今後ますますのご発展と同窓生の皆様方のご健康を心からお祈り申し上げます。

泉高進路状況

～泉高生今春も頑張る(平成22年度)

平成23年卒業生の進路決定状況は別表の通りです。国公立大学の現役合格者数は81名と、昨年には及ばなかったものの、大いに健闘しました。個別に見ると、東北大学が昨年比へ減ったものの、宮城教育大学、宮城大学、岩手大学、山形大学、福島大学等に多くの卒業生を送り出し、各大学の中に着実な地盤を築いています。新潟大学への入学者が増えていることも注目に値します。半面、宮城教育大学、山形大学の文系学部、宮城大学などについては、受験者が多い割には合格に結びついておらず、気持ちはあるものの、備えが十分でないままに人試本番を迎えてしまう生徒もまだまだたくさんいるのも事実です。県内の私立大学については、合格者数は増加していますが、実際の入学者数については減少傾向にあります。このことから、勉強の不足から来る自信のなさゆえに、受験数を絞ることができず、必要以上に多くの大学・学部受験している様子が取れます。実際、複数受験制度のある大学で、複数出願しても一つしか受からない、A日程で決まらず、B日程、C日程と受験せざるを得ないというケースがよく見られます。さらに、都内の難関大については受験数も少なく、結果も厳しいものでした。本校の国公立大学の合格実績の割には、まだまだ日線が低い生徒も多く、学校としては、様々な機会を通して意識の向上、学力の強化に努めております。

さて、昨年度2回目となりました、第1学年「社会人講話」において、第1回目と同様同窓会のご協力を頂き、講師の半数が本校の卒業生の方となり、控え室においても世代を超えて交流をされていました。さらに充実させ、生徒達の励みとなるためにも、今年度の「社会人講話」に向けて、早い時期より同窓会から講師の方をご推薦頂ければと思っております。同時に、様々な機会を通して、本校の生徒達が、より高い意識を持てるよう、御指導頂きますようお願い申し上げます。

前年度までの現役最終進路先

	大 学				専門 学校	就 職		進学 準備	その他	合 計
	国公立	私 立	短 大	大		公務員	民 間			
平成22年度	77	124	3	24	1	4	29	11	273	
平成21年度	87	140	6	19	0	0	24	6	282	
平成20年度	61	153	4	20	2	0	34	4	278	
平成19年度	65	168	6	23	1	2	41	2	308	
平成18年度	71	169	5	41	2	5	24	2	319	

国公立大学合格者数

(防大含む)(現役のみ)

平成22年度	81名
平成21年度	90名
平成20年度	64名
平成19年度	70名
平成18年度	82名

平成22年度主要大学合格状況

()内は浪人数で内数

	大 学 名	計
国 公 立 大 学	北見工業大学	1
	弘前大学	1(1)
	岩手大学	7(2)
	東北大学	3
	宮城教育大学	8(1)
	秋田大学	1
	山形大学	17
	福島大学	13(1)
	茨城大学	3(2)
	宇都宮大学	2
	埼玉大学	2(1)
	東京海洋大学	1
	新潟大学	5
	上越教育大学	1(1)
	三重大学	1(1)
	琉球大学	1(1)
	岩手県立大学	1
私 立 大 学	宮城大学	18(1)
	高崎経済大学	4(3)
	群馬県立女子大学	1
	横浜市立大学	2(1)
	新潟県立大学	3
	滋賀県立大学	1
	東北学院大学	166(6)
東北工業大学	6(1)	
東北福祉大学	52(1)	
東北薬科大学	12	
宮城学院女子大学	49(1)	
仙台白百合女子大学	8	
法政大学5(2)、日本大学く2)、東洋大学5(3)、 専修大学4(1)、成城大学2、神奈川大学2、獨 協大学、芝浦工業大学、明治学院大学他		

平成23年度 泉陽会役員名簿

役 職	氏 名 (回)
会 長	桂島 晃 (1)
副会長	千葉 仁 (1)
〃	菅沢 勇 (1)
幹 事	吉田 恵幸 (7)
〃	大久保博信 (16)
監 事	金森 従雄 (3)
〃	諸橋 辰也 (7)
〃	阿部 浩二 (15)
会 計	庄司 幸男 (1)
〃	黒沢 政弘 (2)
〃	二階堂 章
参 与	今野理一郎
〃	横田 宏明
〃	水口 俊彦

平成二十三年度 役員紹介

平成二十四年度 総会および懇親会の案内

平成二十四年度は、第六回生(昭和五十六年卒)、第十六回生(平成三年卒)、第二十六回生(平成十三年卒)、第三十六回生(平成二十三年卒)が世話役となり、八月十一日(土)にホテル白萩を会場にして行う予定です。詳しくは平成二十四年七月に案内を出します。今年度より同窓会報を泉高校のホームページ上にアップしました。同窓生に会う機会がありましたら伝えて下さい。

事務局 泉高校総務部
〒981-3132 泉区将監10-39-1 tel.372-4111

平成22年度行事報告

- 平成22年 4月8日 入学式
- 7月10日 役員会
- 8月14日 総会 (ホテル白萩)
泉陽会会報第26号発行
- 平成23年 2月28日 同窓会入会式
- 3月1日 卒業式

平成23年度行事予定 (案)

- 平成23年 4月21日 入学式
- 7月9日 役員会
- 8月13日 総会 (ホテル白萩)
泉陽会会報第27号発行
- 平成24年 2月29日 同窓会入会式
- 3月1日 卒業式

平成22年度 同窓会収支決算書

(単位：円)

収支対照

収 入	支 出	残 額	摘 要
1,165,635	1,054,511	111,124	次年度へ繰越

収 入

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,050,000	1,047,700		2,300	1,200円×877名+400円×1人 休(留)学・退学補算-1,300円
繰 越 金	115,859	115,859			前年度からの繰越金
雑 収 入	141	2,076	1,935		利息等
計	1,166,000	1,165,635		365	

平成23年度 同窓会会計予算書(案)

(単位：円)

収 入

項 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,052,400	1,050,000	2,400		1,200円×877名
繰 越 金	111,124	115,859		4,735	前年度から繰越
雑 収 入	476	141	335		利息
計	1,164,000	1,166,000		2,000	

支 出

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	200,000	223,483	23,483		
(会議費)	50,000	119,950	69,950		総会、役員会
(事務費)	50,000	42,089		7,911	総会広告料、総会写真代等
(渉外費)	35,000	9,339		25,661	
(通信費)	15,000	11,680		3,320	案内用切手、はがき代
(印刷費)	50,000	40,425		9,575	会報印刷代
学校行事補助費	240,000	222,028		17,972	
(卒業祝い)	240,000	222,028		17,972	卒業証書ホルダー代
生徒会補助費	100,000	9,000		91,000	通証費補助(弓道、放送)
積立準備金	600,000	600,000			50周年記念事業等積立金
予 備 費	26,000	0		26,000	
計	1,166,000	1,054,511		111,489	

支 出

項 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	220,000	200,000	20,000		
(会議費)	70,000	50,000	20,000		総会、役員会
(事務費)	50,000	50,000			総会広告料
(渉外費)	35,000	35,000			慶弔費
(通信費)	15,000	15,000			切手、はがき代
(印刷費)	50,000	50,000			会報
学校行事補助費	240,000	240,000			
(卒業祝い)	240,000	240,000			卒業記念品
生徒会補助費	100,000	100,000			遠征費補助
積立準備金	600,000	600,000			50周年記念事業等積立金
予 備 費	4,000	26,000		22,000	
計	1,164,000	1,166,000		2,000	

積立金会計

既積立額	既積立利息	22年度積立額	計	摘 要
5,127,045	3,346	600,000	5,730,391	1年自動継続定期預金

積立金会計

項 目	既積立額	今年度積立金	今年度積立額
50周年記念事業積立金	5,730,391	600,000	6,330,391



A棟 3階美術



B棟 棟間通路

東日本大震災の記録
 本校では、校長の挨拶にもありますとおり、現在は通常の授業が行われております。校舎が破損したところはありますが、幸い人的被害はありませんでした。左の写真は震災直後の美術室とB棟間3階通路の写真です。
 あらためて、被害に遭われた同窓生の方々へお見舞い申し上げます。